

ぼくパトカーにのったんだ

わたなべしげお 作
おおともやすお 絵

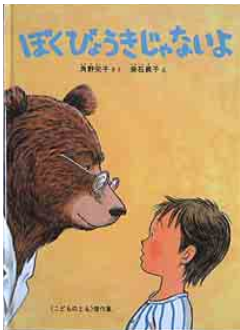


あかね書房 1979年 1165円

くまたくんは、お買い物にいったおかあさんを、むかえにいこうと、三輪車でひろい道路にでていきます。すれちがう車の運転手はびっくりします。家に帰ったおかあさんは、くまたくんがいないので、お友達の家を探しまわります。そこへくまたくんがパトカーに乗って帰ってきます。幼いくまたくんの冒険があたたかい絵で描かれています。「くまたくんのえほん」シリーズは「ぼくおよげるんだ」などがあります。

ぼくびょうきじゃないよ

角野栄子 作
垂石眞子 絵



福音館書店 1994年 800円

親戚のお兄ちゃんと釣りに行く約束をしているケンは、風邪をひいてしまいます。「ぼくびょうきじゃないよ」と言いますが、お母さんにすぐ寝なさいと言われます。ベッドで寝ていると、道を間違えたくまのお医者さんがやって来ました。早く病気を治したいケンに、くま先生は、くま式の風邪の治し方を教えてくれます。あわてんぼうだが頼りになるくま先生とケンのやりとりが楽しい絵本です。

ぽとんぽとんはなんのおと

神沢利子 作
平山英三 絵



福音館書店 1985年 800円

冬ごもりの穴の中、くまの母さんがふたごのぼうやをうみました。ぼうやは、外から聞こえる音を母さんに尋ねます。「かーんかーんってなんのおと?」「ぽとんぽとんってなんのおと?」そのたびに、母さんは丁寧に説明してやります。冬から春へ移りかわる様子がくまの親子の間答からうかがえ、春を迎える喜びにあふれています。美しい自然とあたたかいくまの親子の様子が淡い水彩画で表現されています。